



森とおる NEWS

森とおる
事務所発行

東京都豊島区上池袋3-46-2
東京都豊島区南大塚1-19-3

自宅 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-6-12 TEL 03(6912)0135

みんなの平和への願いを届けます

ウクライナ支援募金にご協力ください



街頭で募金を呼びかけています。 上：大塚駅前 下：上池袋交差点

ロシア・プーチン政権によるウクライナ侵攻が始まり1か月が経過しました。今は国際社会が協力し合って非軍事的な人道支援と、ロシアに対して効果ある経済制裁を続けることが必要だと感じます。

ウクライナでは300万人を超える国外避難民がいて、そのほとんどが女性と子どもだそうです。家族が離散されている中で、国際社会の支援が何よりも必要になっています。

日本共産党はウクライナ支援募金に取り組んでいます。すでにUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とユニセフ(国連児童基金)に募金を届けました。今後

も引き続き取り組んでいきますのでご協力をお願いいたします。

日本政府・維新の会 「軍事強化策」 は危険な道

プーチン大統領は、核兵器使用に言及しています。これまで核保有国が最大の理屈にしてきたのは、核抑止が働いて戦争を止められるということでした。ところがプーチン大統領が先制核使用を公言したことで、核抑止は働かないということが明らかになりました。

核兵器は全世界からなくすしかない、つくづく実感しました。

ところが岸田政権は、「敵基地攻撃能力の保有検討」を進めようとしています。これは相手国の領空で、爆弾を落とすということ、プーチン大統領がやっていることと同じことです。日本に憲法9条がある限り許されない行為です。

また、維新の会も「アメリカと日本で核を共有する提言」を出しました。核の脅威に対して核で対抗するという、これもプーチン大統領と同じ立場です。

そこで岸田首相は、じゃまな憲法を変えようとしているのです。ウクライナ危機に乗じて9条を改憲し、日本を危険な道に引き込む動きは絶対に食い止めなければなりません。

これを止めるのか。何より重要なのは国際世論です。世界が声を合わせるからこそ侵攻を止める一番の力です。プーチン大統領も世界の世論とロシア国内の世論を最も恐れています。

相手の戦力に対し、こちらにも戦力を強化するのでは相互にエスカレートを繰り返すばかりで、平和にはほど遠いものです。

今、日本に求められていることは憲法9条を生かした平和外交です。

機に乗じて9条を改憲し、日本を危険な道に引き込む動きは絶対に食い止めなければなりません。

今、日本に求められていることは憲法9条を生かした平和外交です。

機に乗じて9条を改憲し、日本を危険な道に引き込む動きは絶対に食い止めなければなりません。

今、日本に求められていることは憲法9条を生かした平和外交です。

機に乗じて9条を改憲し、日本を危険な道に引き込む動きは絶対に食い止めなければなりません。

今、日本に求められていることは憲法9条を生かした平和外交です。